

災害現認書

〇〇年 〇〇月 〇〇日

地方公務員災害補償基金
栃木県支部長様

災害現認書を書いた
年月日

現認者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地

所属・職名等具体的に 所属 〇〇市〇〇課主事

氏名 〇 〇 〇 〇
被災職員との関係 (同僚)

被災職員	所属	〇〇市〇〇課〇〇係
	職・氏名	主事 栃木太郎
現認の日時	〇〇年 〇〇月 〇〇日 午前 〇時 〇〇分ごろ	
現認の場所	〇〇市〇〇町〇〇先路上	災害発生の日時・場所ではなく、現認した(報告を受けた)日時・場所
現認の状況	であることに注意。 現認者自身が見たままをありのままに「証言」として記入してください。(認定請求書の「2 災害の発生状況」とらわれず、見ないことは書かないようにしてください。) また、目撃した人がいない場合は最初に被災職員から報告を受けた者が、本書の「現認」を「報告受理」と読みかえて記載してください。 (記載要領) 私は〇〇のため〇〇していると、上記場所で突然ガシャーンという音を聞いてふりむいたところ、〇〇さんが〇〇しているのを見ました。急いで〇〇病院に連れて行きました。(報告受理の場合、〇〇さんから電話で〇〇した旨、報告を受けました。)	

※この現認書は、災害の目撃者(同僚)に作成してもらうこと。
また、目撃者がいない場合は、災害状況報告を最初に受けた者(上司)が作成すること。